



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2026 年 度

N o . 1 1

2026 年 7 月 31 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

J R 北 労 組 第 25 回 定 期 大 会 開 催

**安全の確立、J R 北海道の経営課題の解決をめざすとともに、
民主化闘争完遂に向けた運動方針を確立！**



人見委員長

J R 北 労 組 は 7 月 26 日、札幌市内において第 25 回定期大会を開催し、2026 年度の運動方針を確立した。

冒頭、挨拶に立った人見圭一中央執行委員長（J R 連合副会長）は、安全の確立に触れたうえで、J R 北海道が公表した「黄 8 線区を維持する仕組みの構築に向けた当社の考えについて」がこれまで J R 連合・J R 北労組が提言してきた方向性と近いことに触れ、政策課題解決に取り組むとともに、引き続き組織強化・拡大に取り組む決意を示した。



上村会長

J R 連合からは上村良成会長および谷口昌隆組織・政治局長が参画し、上村会長が挨拶で、安全、組織、政策の主要課題に触れ、連合・交運労協・政治との強い繋がりを持つ J R 連合・J R 北労組にしかできない取り組みを推進していく決意を述べた。



半田副委員長

支援単組の一つである J R 東海ユニオンからは半田健介中央執行副委員長が参画し、貨物鉄産労で組織拡大が続いていることに触れ、J R 連合・J R 北労組の運動の方向性の正当性を訴え、「さらに地域の枠を超えた取り組みをつくり出す」と連帯の挨拶を述べた。

議事では、2026 年度の運動方針等が提起され、代議員から J R 北労組の運動方針や組織運営を補強する要望や質疑、具体的な提案等がなされ、執行部の中間答弁および斎藤洋治郎書記長の総括答弁の後、すべての議案を満場一致で可決された。最後に人見中央執行委員長の力強い「団結ガンバロー」で定期大会を締めくくった。

